

令和4年度社会実験の内容について

令和4年度の社会実験「かさまつminaTRY」の内容（コンテンツ）として、今後、実施主体と協議しながら検討していく候補原案、および実施が決定しているものを下表に一覧する。

実験への参加の可否、参加可能な場合の具体的な内容・方法・時期・公園内の使用エリア等については、実施者による計画を最優先する。

表 R4年度社会実験「かさまつminaTRY」の内容の検討候補原案【アトラクション・学習系】

区分	実施主体（候補）	内容	ねらい	実施時期等	対象	規模（参加人数等）	段階	課題	イメージ写真
アトラクション・学習系	笠松 SUP 同好会	①SUPの体験会・学習会 Eボート木曽川探検	・木曽川の雄大さや自然、川の楽しさなどを、SUPを通して伝える ・SUPの技術向上・獲得	8～9月 土日等	小学生以上	5人程度/回	検討中	・安全確保の体制（水位、水難事の救護、保険加入等） ・漁協の了承を得る、もしくは漁協の参加を得ることはできないか（下記の魚つかみ捕りなど） ・料金設定等	 R3 Eボートで中州上陸
	笠松町歴史未来館 協力(株)エグゼクティブ	②「笠松スーパーカーまつり」 スーパーカーの展示会 ※商工会協力によるブース数店	・川を舞台に憧れのスーパーカーに会う、という川の新たな価値の模索	8/7（日）10:00～15:00 延期時は再設定	車好きな人 全般	数百人/日	実施	・車両の保全 ・情報発信（町HP7/19）	 スーパーカーの例（チラシより）
	オアシスパーク	③「せせらぎ水路」での魚（マス）つかみ捕り（可能ならその場で実食） ※リバーサイドカーニバルの1ブースとしてジョイント	・木曽川の河川敷が多い立地ながら、笠松町には意外と魚のイメージが薄いため、印象づける一端とする ・需要の確認	10/23（日） ※リバーサイドカーニバルで実施する場合	小学生以下	数十人/日	検討中	・水路内での安全管理 ・その場で食べる場合の設備、エリア、届出等	 利用者が集うせせらぎ水路
		④「釣ったりすくったり」 エビ釣、ザリガニ釣、金魚・メダカすくい、ドジョウつかみ等	・生き物とのふれ合いの場の提供	夏期～秋期	小学生以下	数十～数百人/日	検討中	・アメリカザリガニの取扱い（外来生物）	 金魚すくいのイメージ
		⑤アクアボールで水面歩き 特設プール上でアクアボールの体験	・遊園地に近い感覚のアトラクションの需要の確認	夏期～秋期	中学生以下	数十人/日	検討中	・川での実施は、危険、増水の影響が大きい、漁協の了解が必要など困難	 プール上のアクアボール

区分	実施主体（候補）	内容	ねらい	実施時期等	対象	規模 （参加人数等）	段階	課題	イメージ写真
アトラクション・学習系	オアシスパーク	⑥マラソン大会（公園起点） ※川合委員からも事業内容としてご提案	・公園を軸とした健康増進 ※災害時を見据えた体力UP	秋以降 （マラソンの季節） ※定期化	全般	数十～数百人/日	検討中	・運営、コース設定や安全管理 ・収益型の実験・事業ではなく費用回収型とするかどうか	 マラソン大会のイメージ
		⑦自転車の活用 サイクルステーション （休憩、メンテナンスサービス、パーツ販売、栄養補給等）	・木曽河畔を巡るサイクリング周回コースにおける、公園の拠点化に向けた需要の確認	全般	サイクリスト	数十人/日	検討中	・木曽川対岸など周辺エリアのサイクリングロードとの連携 ・公園でのレンタサイクル終了後の自転車利用の促進	 サイクルステーションのイメージ
	民間企業	⑧キャンプ系 （防災キャンプ、宿泊キャンプ等） ※過年度ヒアリングで関心のあった企業によるコーディネートなど	・防災等に関する学びの場としての河川敷活用の模索	夏期～秋期	家族（町内外）	二十組前後/回	検討中	・河川敷利用許可の確認 ・火の使用の有無 ・安全管理	 テント設置のイメージ
	民間企業	⑨防災学習 いろいろな側面から「防災」を幅広く学ぶ ・日常的側面：防災グッズの使い方 ※（株）良品計画（無印良品）とのコラボレーションもあり得る ・災害対応：防災訓練見学 など ※自衛隊の演習見学や出張訓練等もあり得る	・河川敷という楽しさと危なさ（水害等）の両面がある場所で、防災を学ぶ	・秋期～冬期	児童全般	数十人/日 数十組/日	検討中	・こちらからの費用負担の程度	 防災学習のイメージ
	民間企業 民間団体	⑩乗馬体験	・大人対象の乗馬体験 ・子ども対象の乗馬体験	秋期～冬期 ※夏期は馬の健康に課題	全般（初めて、初級～上級）	数十人/日	検討中	・特殊な内容であり、営業の実験として取り組む実施者がいない可能性がある ・実施中の安全確保（人、馬）	 R3 子ども乗馬体験
民間企業 民間団体	⑪犬を愛する！ ドッグラン、犬の愛好家のコミュニケーションや情報交換の場としての活用を図る	・人気安定し、かつ季節性の少ない「犬」とのふれ合いのメッカとしての河川敷・公園の可能性を探る ・特定のテーマでの活動の可能性を探る	秋期～冬期	犬の愛好家	数十人/日	検討中	・情報発信方法（愛好家のネットワーク活用） ・ドッグランの柵の設置と撤去	 ドッグランのイメージ	

※表中の「公園」は「笠松みなと公園」を示す。

表 R4年度社会実験「かさまつminaTRY」の内容の検討候補原案【飲食系】

区分	実施主体（候補）	内容	ねらい	実施時期等	対象	規模 (参加人数等)	段階	課題	イメージ写真
飲食系	笠松町商工会 笠松町プロモーション協会	⑫キッチンカーによる飲食等の提供	・長期間実施による需要変動の把握	9月～12月（要検討）	公園の日常利用者 キッチンカーのファン	数十～数百人/日	検討中	・同一エリアを長期間利用する場合、他の企画がその場所で実施しにくくなることあり得る ・出店者、メニュー、出店追加や中止等の情報の迅速な提供・拡散等	 R3 キッチンカーの出店状況
	民間企業 団体等	⑬管理棟（堤防の四阿）を利用した飲食サービスの提供	・公園利用の拠点の一つとしての方向性をさらに探る ・冬期の需要の有無・創出の確認	夏期～冬期 前回のようには早朝には限定しない	公園利用者・通行者 全般	数十～数百人/日	検討中	・終日開店する場合、管理棟の炊事場で安定的な飲食提供が可能かどうか	 R3 管理棟での朝カフェの状況
	笠松町商工会 笠松町プロモーション協会	⑭ビアガーデン 川沿いのサクラにイルミネーションで演出等 ※協会では7/30に実施「ビアパーク2022」	・河川敷の開放的で楽しい利用方法の模索 ・毎年の実施に向けた需要の確認	夏期	全般 家族、若者グループ、名鉄利用者など	数十～数百人/日	検討中	・開催期間（単発、週末数回等） ・車両利用制限の徹底 ・安全管理、食材管理、料金設定 ・名鉄タイアップ	 ビアガーデンのイメージ
	民間企業	⑮焚火+飲食 ※酒類の提供もあり得る	・前回好評を博した焚火を活用した飲食により、川縁でのゆったりとした時間を提供する ・カフェ以外の需要の確認	秋期～冬期	全般 家族、若者グループ、名鉄利用者など	数十～数百人/日	検討中	・備品、都度撤収等 ・夜間の公園利用時間の調製 ・火災防止	 R3 焚火カフェ(昼間)
	民間企業 笠松町商工会 笠松プロモーション協会 ※今後ヒアリング	⑯バーベキューの実施 ・サイトの提供だけでなく、食材販売も含めた有料運営	・河川敷でのバーベキューという王道の楽しみ方を再考する ・平・休日の違いなど含め、有料でのニーズの確認 ・食材管理なども含めた採算性検証	夏期～秋期	全般 家族、若者グループなど	数十～数百人/日	検討中	・予約・当日来店などの管理 ・食材管理	 バーベキューのイメージ
	民間企業 団体等	⑰スタンプラリー 3月実施の「謎解きラリー」の続編	・河川敷・公園を広く使ってもらおう ・リピーターの有無の確認 ・初級～上級などのコース別の需要確認 ・継続実施のための課題の把握 ・冬の人出への影響 ・採算性の確認	夏期～冬期	小学生 全般	数十人/日	検討中	・継続的に実施する場合の問題作成	 R3 ラリーによる公園巡回状況

※表中の「公園」は「笠松みなと公園」を示す。